

第6 関連部門

1 リハビリテーション工学研究・開発

(1) 概要

福祉機器の研究開発、補装具作製に関する研究を行っている。

また、これらに関する普及・啓発、相談業務を行っている。

(2) 福祉機器研究開発

頸髄損傷者の在宅における生活を支援するため、調査・機器開発を行っている。

対象者の加齢に伴い、施設入所者に関する相談が増加しており、呼び鈴からマットレスの選択、座位保持装置付き電動車椅子やロボット等、多岐にわたるものに対応している。

地域技術支援の廃止に伴い、他の疾患、障害に対するリハビリテーション工学支援は終了した。

遠隔監視、遠隔操作を可能とする技術を応用し、在宅からの特殊事例に関して、機器開発をした。

企業・個人の福祉機器参入に関して、産業労働部、産業技術総合センターと連携しているほか、産業技術総合センターの福祉部門廃止に伴い、中小企業からの開発相談にも対応している。

県内工科系大学への支援としては、新事業支援機関として研究会等に参加している。

平成26年度より始まった県先端産業創造プロジェクト:医療イノベーション埼玉ネットワークの支援機関・ロボット支援機関として、大学・企業・業界団体に協力した。本年度はのべ1,485件の対応であった。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議・Webセミナー形式で、対応した。

(3) 補装具作製

「補装具製作施設」として、義肢装具士により、外来・入院患者の補装具の製作・修理・改良を行うほか、毎週開かれる補装具外来で義肢・装具の評価、適合チェックや助言を行っている。

補装具製作等件数（令和2年度実績）

項目	件数
補装具の修理・修繕	408
補装具の試作	3
補装具の製作	23
更生相談の対応	512

2 研修・実習・見学・ボランティア

(1) センター主催研修の開催

ア 概要

当センターでは、県内の福祉・保健・医療関係者等を対象に障害者のリハビリテーションに関する情報を提供する場として次の研修・講座を実施している。

(ア) リハビリテーションテーマ別研修

リハビリテーションに関する専門的な内容について、福祉・保健・医療関係専門職員等を対象として実施する研修である。

(イ) 市町村等職員研修

(ウ) リハビリテーション講座

当センター以外のリハビリテーション関係機関が主催する研修に協力し、福祉・保健・医療関係の専門職員以外の人も対象に含む講座である。

イ 令和2年度事業実績

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リハビリテーションテーマ別研修のうち「障害の理解とリハビリテーション 高次脳機能障害編」と「高次脳機能障害者の暮らしを支えるために 就労支援編」のみ県公式 YouTube チャンネルで配信し、その他の研修は書面開催又は中止とした。詳細は以下のとおり。

受講者数は延べ 568 名であった。

(ア) リハビリテーションテーマ別研修

研 修 名	実施日	時間 (分)	講 義 内 容	講 師
障害の理解と リハビリテーション 総論編 【開催中止】	—	—	リハビリテーション概論 疾患の理解と障害について	センター長
		—	リハビリテーションにおける臨床心理 の基礎知識	臨床心理科 (CP)
		—	理学療法とは	理学療法科 (PT)
		—	作業療法とは	作業療法科 (OT)
		—	言語聴覚療法とは	言語聴覚科 (ST)
		—	リハビリテーションに関わる医療・福 祉制度について	医療相談科 (MSW)
		—	身体障害者手帳制度について	障害認定担当
		—	障害者支援施設の利用について	サービス調整担当
		—	視覚障害者への支援・視覚障害者体験	自立訓練担当 (歩行訓練士)
		—	障害者の就労支援	就労移行支援担当 (職業指導員)
障害の理解と リハビリテーション 脳血管障害編 【開催中止】	—	—	脳血管障害の医学的基礎知識	診療部 (医師)
		—	脳血管障害に対する理学療法	理学療法科 (PT)
		—	脳血管障害に対する作業療法	作業療法科 (OT)

		—	脳血管障害に対する言語聴覚療法	言語聴覚科 (S T)
		—	脳血管障害者のリハビリテーション看護	看護部 (脳卒中リハビリテーション看護認定看護師)
		—	脳血管障害に対する栄養管理	栄養科 (管理栄養士)
		—	脳血管障害者のための社会制度	医療相談科 (MSW)
		—	障害者支援施設を利用しての社会復帰	自立訓練担当 (OT)
		—	脳血管障害の体力と健康づくり	健康増進担当 (体育指導員)
障害の理解と リハビリテーション 脊髄損傷編 【開催中止】	—	—	脊髄損傷の医学的基礎知識	センター長
		—	脊髄損傷者の車椅子と移乗動作	理学療法科 (PT)
		—	脊髄損傷者の日常生活動作	作業療法科 (OT)
		—	脊髄損傷者の在宅生活へ向けてのケアの実際	看護部 (看護師)
		—	脊髄損傷者の生活環境整備	自立訓練担当 (OT)
障害の理解と リハビリテーション 神経難病編 【開催中止】	—	—	神経難病の医学的基礎知識	副センター長
		—	神経難病の理学療法	理学療法科 (PT)
		—	神経難病の作業療法	作業療法科 (OT)
		—	神経難病の嚥下障害	言語聴覚科 (S T)
障害の理解と リハビリテーション 高次脳機能障害編 第1部・第2部 【オンライン配信】 県公式 YouTube チャンネル 事前申込制・限定公開 申込者数 355人	配信期間 12/8～ 12/18	50	高次脳機能障害の医学的基礎知識	神経・精神科 先崎 章 (医師)
		50	高次脳機能障害への対応 (事例を含む)	
		60	神経心理学的理解と認知リハビリテーション	臨床心理科 町田 真理子 (CP・公認心理士)
		35	病院でのリハビリテーション	作業療法科 赤間 公一 (OT)
		30	高次脳機能障害者の看護	看護部 木村 亜矢子 (脳卒中リハビリテーション看護認定看護師)
		35	支援の実際と対応の工夫 ① 障害者支援施設での訓練と支援	自立訓練担当 諏訪間 弘子 (OT)
		15	支援の実際と対応の工夫 ② 就労支援	就労移行支援担当 山本 雅史 (職業指導員)
		10	支援の実際と対応の工夫 ③ 健康づくり	健康増進担当 鬼澤 智子 (体育指導員)
35	支援の実際と対応の工夫 ④ 相談支援	高次脳機能障害者支援センター 大橋 瑞枝 (支援コーディネーター)		

障害のある方の安全な栄養摂取と口腔ケア	脳血管障害による摂食・嚥下障害とリハビリテーション 【開催中止】	—	—	摂食・嚥下障害の基礎知識とリハビリテーション	言語聴覚科 (ST)
			—	栄養管理の基礎知識	栄養科 (管理栄養士)
			—	看護から学ぶ食事援助のポイント	看護部 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)
	認知症の方のための口腔ケア 【開催中止】	—	—	認知症の方のための口腔ケア	歯科診療科 (歯科医師)
			—	口腔ケアの手順について	歯科診療科 (歯科医師) (歯科衛生士)
			—	口腔ケア実習	歯科診療科 (歯科医師) (歯科衛生士)
障害のある方のための健康づくり講座	肥満対策編 【開催中止】	—	—	食事で肥満対策	栄養科 (管理栄養士)
			—	運動で肥満対策	健康増進担当 (体育指導員)
			—	看護師の立場で考える肥満対策	健康増進担当 (看護師)
	スポーツ施設応援編 【開催中止】	—	—	センター健康増進施設の紹介	健康増進担当 (体育指導員)
			—	障害の理解と必要な配慮	健康増進担当 (体育指導員)
			—	スポーツを楽しむための工夫と体験 (※実技・体育館にて)	健康増進担当 (体育指導員)
			—	意見交換会	健康増進担当 (体育指導員)
	障害のある方のための福祉用具の有効活用 肢体不自由・視覚障害者関連 【開催中止】	—	—	福祉用具と住環境に関わる社会制度	医療相談科 (MSW)
—			重度障害者用意意思伝達装置	リハビリテーション工学科 (エンジニア)	
—			視覚障害者の福祉用具	自立訓練担当 (歩行訓練士)	
—			福祉用具と環境調整 (主に在宅生活に向けて)	作業療法科 (OT)	
—			移動用具・移乗用具 (実技・体験)	理学療法科 (PT) 作業療法科 (OT) 自立訓練担当 (PT・OT)	
高次脳機能障害者の暮らしを支えるために 就労支援編 【オンライン開催】 県公式 YouTube チャンネル 事前申込制・限定公開 申込者数：213人	配信期間 2/10～ 2/17	40	高次脳機能障害者の暮らしを支えるために 就労支援編	就労移行支援担当 (職業指導員)	

(イ) 市町村等職員研修

研 修 名	実施日	時間(分)	講 義 内 容	講 師
身体障害者福祉担当 新任職員研修 【書面開催】	—	—	埼玉県総合リハビリテーションセンターについて	身体障害担当
		—	①補装具費支給制度の概要について ②肢体不自由者の更生相談について	身体障害担当
		—	視覚障害者、聴覚障害者、内部障害者の更生相談について	身体障害担当
		—	身体障害者関係指定障害者支援施設等の入所調整について	身体障害担当
		—	身体障害者手帳の概要と事務処理について	障害認定担当
		—	身体障害者手帳制度の認定基準について	障害認定担当
	—	—	身体状況を説明する際に出てくる用語	理学療法科
		—	福祉用具（補装具）相談の視点 車椅子を中心に	作業療法科
		—	義肢装具の必要な名称と知識	リハビリテーション工学科
		—	自立支援医療（更生医療）について	身体障害担当
身体障害者福祉担当 職員研修 【開催中止】	—	—	義肢・装具について 義肢装具の相談事例から学ぶこと	リハビリテーション工学科
		—	重度障害者用意思伝達装置	リハビリテーション工学科
		—	更生相談における留意点	身体障害担当
		—	聴覚障害—聞こえと補聴器—	耳鼻咽喉科 嘱託医 彩の国リオネットセンターグループ 認定補聴器技能者
		—	グループディスカッション (市町村の意見交換)	身体障害担当
知的障害者福祉担当 新任職員研修会 【書面開催】	—	—	療育手帳制度について	障害認定担当
		—	知的障害者更生相談 ① 更生相談概要について	知的障害・心理判定担当
		—	知的障害者更生相談 ② 判定依頼書について	知的障害・心理判定担当
		—	知的障害者の心理判定について	知的障害・心理判定担当
		—	知的障害者関係指定障害者支援施設等の入所調整について	知的障害・心理判定担当
		—	市町村の知的障害者福祉の現場から	外部講師 (所沢市障害福祉課)

知的障害者福祉担当 現任職員研修会 【開催中止】	—	—	療育手帳交付事務について 知的障害者更生相談所の利用について	障害認定担当 知的障害・心理判定担当
		—	知的障害がある人の意思決定支援について	外部講師 (法テラス埼玉 弁護士)
		—	グループディスカッション・情報交換	

(ウ) リハビリテーション講座

研修名	実施日	時間(分)	講義内容	講師
夏休みボランティア 体験プログラム (上尾市社会福祉 協議会主催) 【開催中止】	—	—	オリエンテーション センター紹介ビデオ	職員・企画担当
		—	視覚障害者ガイド体験	自立訓練担当
		—	入所施設見学等	生活支援担当
		—	車椅子操作・創作訓練活動の見学等	

※PT：理学療法士 OT：作業療法士 ST：言語聴覚士 CP：臨床心理士

MSW：医療ソーシャルワーカー CW：ケースワーカー

※機関名は外部講師のみ記載

ウ 令和3年度事業計画

令和3年度は、センター主催研修を7コース13講座に再編し、県公式YouTubeチャンネルで動画配信します。なお、配信期間は約1か月を予定しています。

(ア) リハビリテーションテーマ別研修

研修名	研修内容	配信予定日	定員(名)	研修対象者
1. 障害の理解とリハビリテーション	総論編	7/29 (木)	なし 事前 申込制	身体障害者への支援に初めて関わる職員等
	脳血管障害編	8/26 (木)	〃	脳卒中の後遺症による障害のある人に関わっている職員等
	脊髄損傷編	9/22 (水)	〃	脊髄損傷の後遺症による障害のある人に関わっている職員等

	神経難病編	障害を伴う神経難病患者のQOLの維持・向上につなげるための、基礎的な知識について	11/26 (金)	〃	神経難病患者に関わっている職員等	
	高次脳機能障害編	脳卒中や脳外傷等の脳損傷後に出現する高次脳機能障害の基礎的な知識や対応方法について	8/12 (木)	〃	高次脳機能障害者に関わりのある職員等	
口腔ケア	2. 障害のある方のための口腔ケア	障害者の口腔ケアに関する、実技を交えた、基礎的な知識について	11/4 (木)	〃	障害者施設等の職員等	
講座	3. 障害のある方のための健康づくり	肥満対策編	障害者の肥満対策に関して	10/7 (木)	〃	障害者施設等の職員等
	スポーツ施設対応編	スポーツ施設職員が障害者に対応する際に知っておきたい知識・技術について	11/18 (木)	〃	スポーツ施設の職員等	
4. 福祉用具の有効活用	4. 障害のある方のための福祉用具の有効活用	肢体不自由、視覚障害者関連	地域や施設で暮らす障害者のQOLの維持・向上につなげるための情報提供や体験実習	10/21 (木)	〃	地域や施設で暮らす障害者と日常関わりのある職員等
5. 暮らしを支えるために	5. 高次脳機能障害者の暮らしを支えるために	高齢者編	高齢の高次脳機能障害者への支援に際して、支援者が知っておきたい制度や知識について	9/9 (木)	〃	高次脳機能障害者に関わりのある職員等

(イ) 市町村等職員研修

研 修 名		研 修 目 的	配 信 予 定	定 員 (名)	研 修 対 象 者
1. 身体障害者福祉 担当者研修	身体障害者福祉担当 職員研修	身体障害者福祉担当を対象として、担当者として必要な基礎的知識の習得を図り、業務の円滑な遂行に資するとともに、現場で必要とされる知識等を習得し、資質向上を図る	調整中	なし 事前 申込制	新任及び現任の市町村身体障害者福祉担当職員
2. 知的障害者福祉 担当者研修	知的障害者福祉担当 新任職員研修会	新任職員を対象として、担当者として必要な基礎的知識の習得を図り、業務の円滑な遂行に資する	5/20～ 5/28	〃	新任の市町村知的障害者福祉担当職員等
	知的障害者福祉担当 現任職員研修会	地域生活支援にかかるトピック的な研修を実施し、市町村等での相談支援業務の推進に資する	中止 (新型コ ロナウイ ルス)	〃	市町村知的障害者福祉担当職員等

(ウ) リハビリテーション講座

研 修 名	研 修 目 的	実 施 予 定	定 員 (名)	研 修 対 象 者	備 考
1. 夏休みボランティア 体験プログラム	ボランティアとして必要な障害についての知識、基本的な介助法を体験する	中止 (新型コ ロナウイ ルス)	2	中学生・高校生・ 大学生・社会人	上尾市 社協 主催

(2) 実習生の受け入れ

当センターでは、障害者等のリハビリテーションに関する専門的知識及び技能等を習得させることを目的として、センター外の福祉・医療関係者等を実習生として受け入れている。

令和2年度に受け入れた実習生の実人数は125名、延べ人数は1,260名であった。内訳は次のとおりである。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部実習の中止、実習期間の短縮等の対策を行った。

ア 所属別内訳

研修生の 所属機関	リハビリテーション関係職員養成機関						リハ病院	施設 関係者	行政関係機関						社団法人	合計				
	大学・ 大学院		短大		専門学校				埼玉県の 機関		国・他県 の機関		県内市町 村の機関							
	件数	人数	件数	人数	件数	人数			件数	人数	件数	人数	件数	人数				件数	人数	件数
1 相談部																	0	0		
2 福祉工学担当																	0	0		
3 生活支援担当																	0	0		
4 健康増進担当																	0	0		
5 医療相談科																	0	0		
6 薬剤科																	0	0		
7 栄養科																	0	0		
8 臨床心理科																	0	0		
9 歯科診療科					1	24											1	24		
10 理学療法科	6	7			1	1											7	8		
11 作業療法科																	0	0		
12 言語聴覚科					2	2											2	2		
13 看護部					8	53					6	38					14	91		
合計(実件数 ・実日数)	6	7	0	0	12	80	0	0	0	0	6	38	0	0	0	0	0	0	24	125

イ 所属・期間別内訳

	学 校 名 等	受入れ セクション	実習 生実 人数	開始日	終了日	実習 実施 日数	実習 述べ 人数
1	埼玉県立高等看護学院	看護部	8	R2.7.7(火)	R2.7.30(木)	16	128
2	幸手看護専門学校	看護部	6	R2.7.16(木)	R2.7.31(金)	10	60
3	埼玉県立高等看護学院	看護部	2	R2.8.5(水)	R2.8.20(木)	11	22
4	埼玉県立大学	理学療法科	2	R2.8.11(火)	R2.9.18(金)	29	58
5	幸手看護専門学校	看護部	6	R2.8.11(火)	R2.8.21(金)	9	54
6	埼玉県立高等看護学院	看護部	1	R2.8.12(水)	R2.8.19(水)	6	6
7	幸手看護専門学校	看護部	6	R2.8.25(火)	R2.9.4(金)	9	54
8	葵メディカルアカデミー	理学療法科	1	R2.8.31(月)	R2.10.16(金)	33	33
9	東京歯科衛生専門学校	歯科診療部	24	R2.9.7(月)	R2.11.4(水)	24	72
10	人間総合科学大学	理学療法科	1	R2.9.7(月)	R2.9.11(金)	5	5
11	幸手看護専門学校	看護部	6	R2.9.8(火)	R2.9.25(金)	12	72
12	埼玉県立高等看護学院	看護部	6	R2.9.14(月)	R2.9.17(木)	4	24
13	埼玉県立高等看護学院	看護部	11	R2.9.23(水)	R2.10.8(木)	12	132
14	日本福祉教育専門学校	言語聴覚科	1	R2.9.23(水)	R2.10.6(火)	10	10
15	埼玉県立大学	理学療法科	1	R2.9.28(月)	R2.10.30(金)	25	25
16	幸手看護専門学校	看護部	6	R2.9.29(火)	R2.10.16(金)	14	84
17	日本医療科学大学	理学療法科	1	R2.10.12(月)	R2.11.20(金)	29	29
18	首都医校	言語聴覚科	1	R2.10.12(月)	R2.11.20(金)	29	29
19	埼玉県立高等看護学院	看護部	10	R2.10.13(火)	R2.10.29(木)	13	130
20	埼玉医科大学	理学療法科	1	R2.10.19(月)	R2.11.6(金)	14	14
21	上尾看護専門学校	看護部	6	R2.10.20(火)	R2.10.28(水)	7	42
22	幸手看護専門学校	看護部	5	R2.11.10(火)	R2.11.26(木)	12	60
23	東京家政大学	理学療法科	1	R2.11.24(火)	R2.12.4(金)	9	9
24	上尾看護専門学校	看護部	12	R2.12.8(火)	R2.12.18(金)	9	108
	合計		125			351	1,260

(3) 見学者の状況

当センターでは、障害者のリハビリテーションをより理解してもらうために、センター外の福祉・医療関係者を中心に、見学者を受け入れている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、見学者の受入れは中止した。

(4) ボランティアの状況

当センターでは、障害者のリハビリテーションを広く一般社会に理解してもらうために、ボランティアに行事、イベント等での協力を得ているほか、障害者支援施設でのボランティア体験研修を実施している。

受入施設		障害者支援施設					病院	合計	
活動内容		創作訓練 「書道」の 講師助手	犬による 癒し事業	クリスマ ス会	ボランテ ィア体験 研修	小計	病院内の案内 病院内環境整備 (車椅子・カー ト清掃等)		
月別受入れ人数延べ人数(受入回数)	4月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	5月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	6月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	7月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	8月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	9月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	10月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	11月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	12月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	1月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	2月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
	3月	人数	0	0	0	0	0	0	0
		回数	0	0	0	0	0	0	0
計	人数	0	0	0	0	0	0	0	
	回数	0	0	0	0	0	0	0	
実人数		0	0	0	0	0	0	0	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、未実施となっている。